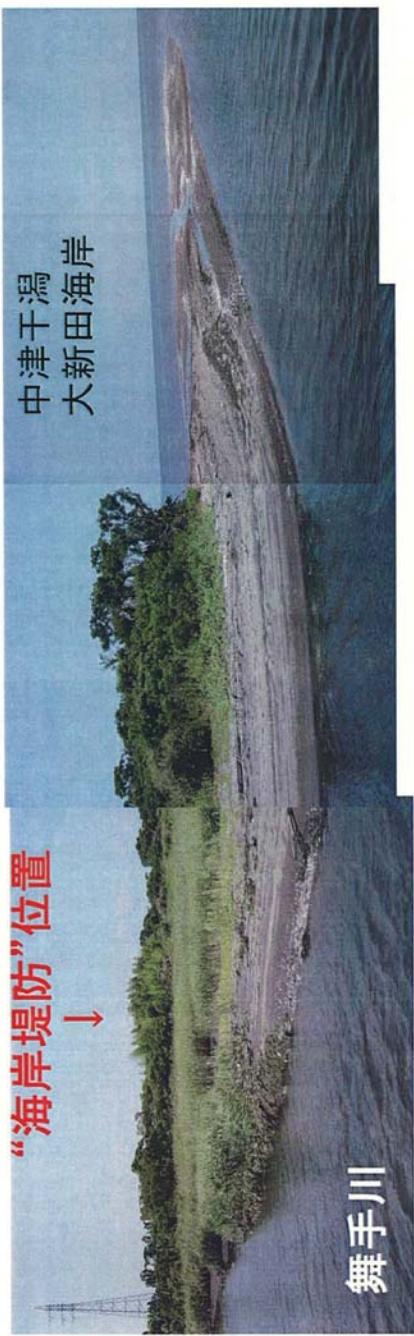


## 懇談会案を尊重 砂浜と河口の 自然地形を保全

- ・海岸計画
  - ・合意形成
  - ・景観
- 海岸保全施設の技術  
の見直しに

## “弓堤”により残された河口砂州と砂浜



河道内干渉の再生 荒川下流 船堀干渉





三番瀬再生のための護岸に関する提案 < >

降藤後

## I. 基本的な考え方

安全性(防災)

- 今回の設計で安全性は確保
  - 自然素材の活用、緩傾斜(円卓案より)
  - 一部透水性(H鋼)にも配慮
  - 胸壁(県と市川市の努力)で後背地に
  - 目標生物は、現状の直立護岸およびその前面の生物の復活
  - 現状で魚の稚魚、カニ等が石の隙間を利用

環境(三番瀬の再生)

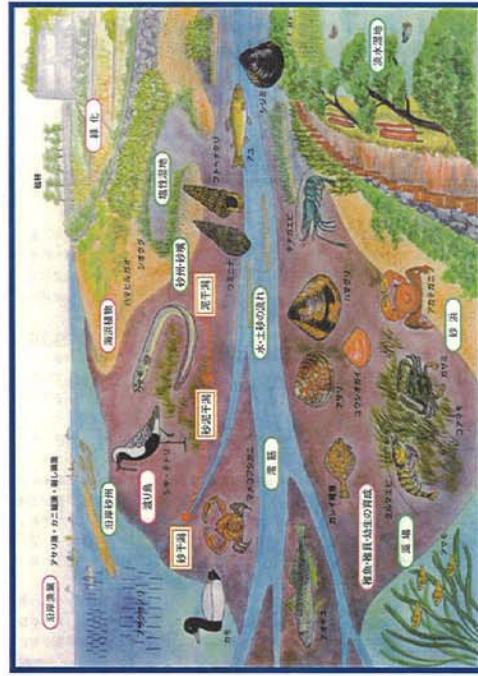
- 三番瀬再生の目標=海と陸との連続性の確保(生態系としての)つかつての三番瀬の生物の復活・生物(動・植物)の生活史を確保できる生態系の形成・復元 +
  - 自然再生・後背湿地の復元
    - ・自然再生、水循環の再生の場の確保

親水性・景鉄・アクセス

- 水に安心してふれられる場の形成
  - 環境学習の場の設置
  - 海から見た景観
  - グリーンベルトの形成
  - +
  - 賢明な利用
  - アクセスの向上(遊歩道等)

## II. 長期的な目標

3つの要因を同時に考慮する水資源の現状と検討



千葉県三番瀬再生計画(基本計画)のP14に載せられて  
いる右図の参考図「三番瀬再生のイメージ」は、かつての豊  
かな「三番瀬」への再生のイメージを描いている。  
このような生態系・自然のありようを取り戻すこととを長期的  
目標として、そのための1ステップとしての位置づけとし、  
海岸沿いの方を検討する必要がある。